

スペイン日本語教師会ニュースレター

MARZO 2010

APJE

EDICIÓN I



「スペイン日本語教師会」設立総会および研修会 議事録

2010年2月12日(金)、国際交流基金マドリッド日本文化センター (C/ Almagro, 5, Madrid) 1階の会議場で「スペイン日本語教師会」の設立総会、及び研修会が行われた。午前10時、高橋文明日本国大使、横林直樹一等書記官、国際交流基金関係者、日本とベルギーから招かれた2名の招聘講師、そしてスペイン全国と日本から集まった50名の参加者を迎え、にぎやかな雰囲気の中で会は始まった。

開会にあたっては今回の主催者、国際交流基金マドリッド日本文化センター所長代理の上野宏之氏からの挨拶に続いて、在スペイン日本国特命全権大使の高橋文明閣下よりご挨拶をいただいた。大使からは本会の設立に対する祝福のお



言葉とともに、スペインで近年急増している日本語学習者をより多く受け入れられる態勢を早期に設立すること、そして上級者向けの日本語教育を強化し、スペインに於ける日本研究の拡充を図っていくことの2点が今後の課題として挙げられた。

プログラム

- 10:00~10:15 主催者挨拶
- 10:15~10:30 ご挨拶 (高橋文明大使)
- 10:30~11:30 スペイン日本語教師会設立総会
- 11:30~12:00 2009年度日本語能力試験の結果報告
- 12:00~12:15 2009年サラマンカシンポジウム報告
- 12:30~13:00 新日本語能力試験の説明
- 13:00~14:30 招待講演「アニメ・マンガと日本語教育」
昼食
- 15:30~16:30 欧州日本語教師研修会還元ワークショップ
- 16:30~17:30 招待講演「中級日本語のアプローチ
—中級レベルの考察と読解指導実践例—」
- 17:30~18:00 著書「La Cultura Japonesa Reflejada en su Lengua」の紹介

続いて「総会」では鈴木裕子(マドリッドコンプルテンセ大学)より「スペイン日本語教師会」が設立に至った経緯の説明、そして懸案となっていた会のスペイン語名称と会費についての議論が持ち出された。スペイン語名称についてはAsociación de Profesores de Japonés en España、

Asociación de Profesores de Japonés en España、



スペイン日本語教師会ホームページ

日本語関係のニュース、教師会フォーラム、教師の知恵袋など役に立つ情報が満載!

<http://www.piscoya.net/acje/>



© スペイン日本語教師会 2010

略称APJEとすること、また会費については一般会員 20€、学生会員 15€にすることが提案され、全会一致で採択された。

続いてサラゴサ大学で教鞭をとり弁護士でもある、フランシスコ・バルベランから本会の定款について、会の法人化が速やかに行われるよう、スペインのひな形に合わせて作業が進められることが説明された。そして本会のホームページの作成にあたった藤野華子(教皇立コミージャス大学)からはホームページの概要とコンテンツについて簡単な説明があった。



最後に役員を選任が行われた。会長、副会長、書記、会計は立候補と全会一致により、役員は立候補により、下記の通り選任された。

- 会長：鈴木 裕子
- 副会長：Francisco Barberán
- 書記：藤野 華子
- 会計：益子 夏実
- 渉外：
Montserrat Alvaro Sánchez
Maliló Rodríguez del Alisal
- 役員：
橋本 真理
Yerma Alonso Harada
波多野 朝美
加藤 さやか
真島 知佐
西村 小百合
野崎 美香
高森 絵美
滝沢 晶子
滝沢 修身
辻本 真紀子
吉本 由江



コーヒー休憩の後、プログラムは「研修会」に移った。

「2009年度日本語能力試験の結果報告」ではバルセロナ自治大学の白石実とマドリード自治大学の木村千枝子から2009年12月に実施された日本語能力試験についての報告があった。今回はバルセロナで476名、マドリードで554名と、ともに過去最大の応募

者があり、年々増加する受験者に対し、協力者の確保やバルセロナで既に実施されている受験申込のオンライン化をマドリードでも導入していくことが検討された。

「2009年サラマンカシンポジウム報告」では昨年6月にサラマンカ大学日西センター行われた「第1回スペイン日本語教育シンポジウム」について、同センターの滝沢修身より報告が行われた。

続いて「新日本語能力試験の説明」では様々な改訂を加えて2010年度より実施される新日本語能力試験についてマドリード自治大学の高森絵美から説明が行われた。新試験は現在の2級と3級の間に新たなレベルを設け



たり、評価の基準を今までの言語知識そのものを測るものから課題に対する遂行能力を測るものにする、などの改訂を含んでおり、それに伴う新しい試験構成や結果の表示方法などについて言及がされた。

午前中最後のプログラムとなった「アニメ・マンガと日本語教育」では国際交流基金関西国際センター専門員の熊野七絵講師より世界的な人気を誇る日本のアニメ・漫画を取り入れた日本語教育の現状、教材やインターネット上のリソース、そして関西国際センターで実際に行われている様々な教室



活動が紹介された。インターネットを通じたアニメの普及に疎い参加者や教科書からの隔たりの大きさにアニメ・漫画を取り入れることを躊躇している参加者からは驚きとともに大きな関心が寄せられた。

昼食を挟んで午後の部はワークショップ形式の講演が2本行われた。

まず、「欧州日本語教師研修会還元ワークショップー初級日本語教室活動例ー」では昨年の欧州日本語教師研修会に参加したマドリードコンプルテンセ大学の鈴木裕子から研修会の報告が行われた。とりわけ、CEFR（欧州



言語共通参照枠)に即した新しい日本語教育法に焦点が当てられ、会場では研修で実際に行われた、初級日本語を教えるための活動がいくつか紹介された。学習者となった参加者はグループに分かれて積極的にアイデアを出し合った。

続いて「中級日本語のアプローチー中級レベルの考察と読解指導実践例



ー」ではルーヴァン・カトリック大学(ベルギー)で日本語コースを統括し、またベルギー日本語教師会の現会長も務める櫻井直子講師から、何をもって「中級日本語」と呼び、どのように教えたらよいかについて講演が行わ



れた。具体的には読解の指導について、その方法や他の技能との連携、学生のフォローの仕方、および評価の方法などが紹介され、ここでも参加者は隣の人やグループで話し合い、活発な意見交換が行われた。

午後の部の最後には元上智大学、および元マドリード自治大学の講師であるフェデリコ・ランサコから新著“La Cultura Japonesa Reflejada en su Lengua”の紹介があった。ご高齢ながらもますます活発に執筆活動を行い、いつも変わらぬ流暢な日本語でお話しになるランサコ氏には会場から深い敬

意と温かい
眼差しが注
がれた。



以上、
盛り沢山の
予定をこな
し、研修会
は午後6時半すぎに閉会された。

午後8時からは高橋大使のご好意により大使公邸で懇親会が催され、研修会の参加者36名に加えてマドリード自治州Consejería de Educaciónやマドリードの主要大学の関係者も出席した。大使からの歓迎のお言葉に始まった会では、一日の研修を共にした参加者と日本大使館や教育関係者の間で話が盛り上がり、公邸料理人ご自慢のフランス料理に舌鼓を打ちながら、夜遅くまで楽しいひとときが続いた。

以上、スペイン内外の多くの日本語教育関係者が待望していた「スペイン日本語教師会」はこのような立派なデビューを飾ることができたのだが、これも偏に日本大使館からの全面的なサポート、そして国際交流基金の上野さん、柴崎さん、及びアシスタントのAlejandroさん、Lucíaさんの多大なるご協力があったことであつた。この場を借りてもう一度厚くお礼を申し上げたい。



スペインでの生き生きとした 日本語教育のために！

現在、「スペイン日本語教師会」にはスペイン国内に51名と日本に3名、計54名の会員がいます。スペイン国内の会員分布は次の通りです。

REGIÓN	人数
Andalucía (Cádiz, Málaga)	2
Aragón (Zaragoza)	1
Castilla- La Mancha (Albacete)	1
Castilla y León (León, Salamanca, Soria, Valladolid, Zamora)	10
Cataluña (Barcelona)	2
Galicia (A Coruña, Pontevedra, Vigo)	4
C. Madrid (Madrid)	27
Murcia (Murcia)	2
C. Valenciana (Alicante)	2
TOTAL	51

今回皆様からいただいたご意見をもとに、今後は毎日の現場で役立つような効果的な授業活動の紹介、CEFR対応のためのワークショップやセミナー、日本や欧州で活躍している専門家による講演などを企画し、皆様の情報交換と交流の場を作って行きたいと思ひます！

お知らせ

当日のハンドアウトについて

今回、予想以上の参加者があつた為にハンドアウトの冊子が足りないところがあつたようです。資料をご希望の方はご一報下さい：aeje.info@gmail.com

多読ワークショップ

3月15日(月)10~13時、国際交流基金マドリード日本文化センターにて「日本語多読ワークショップ」が行われます。講師は酒井邦秀先生(電気通信大学準教授)と栗野真紀子先生(NPO法人日本語多読研究会理事長)。

日本語学習者にごく易しいものから日本語での読書を勧め、継続すること

で読解力を格段にアップさせる「多読法」を皆さんも実際に本を手にとって体験してみませんか？

お申込：aeje.info@gmail.comまで。
申込期限：3月12日(金)。
参加費：会員は無料、非会員は10€。

第2回スペイン日本語教育 シンポジウム

6月18日(金)~19日(土)、国際交流基金マドリード日本文化センター(仮)にて「第2回スペイン日本語教育シンポジウム」が開催されます。詳細の情報、発表の募集案内は近くホームページに掲載されます。皆様奮ってご参加下さい！

